

|         |   |
|---------|---|
| 事業名称    | みんなで作ろう！！「歌のサプリメント」コロナ編   |
| 団体名・代表者 | ほのぼのさん 代表 澤崎美重子   |
| 協働の相手方  | 文化国際課   |
| 目的      | 未来を担う子供達に、音楽を通して達成する喜び、作り上げる喜びを感じてもらい、子供達を中心に、企画から歌を作り上げ、発表していく過程を経験することで、一つのものを作り上げていく楽しさ、大変さ、協調、協力することの大切さを学ぶ。自分たちで作ったものを発表し、やり遂げることで、一体感、充実感を知る。子供達の作った元気のサプリメントで市民も元気になる。           |
| 内容      | 公募で集まった子供たちとオリジナル曲を製作、録音。4ヶ月間、歌とダンスのレッスンに励んだ成果を3月に発表する。<br>伴奏は、大人の生バンド。   |
| 事業経過    | 9月 募集チラシ配布 11月 オーディション開催 12月～3月 歌とダンスのレッスン<br>3月 CD録音、動画撮影 3月20日 姫路駅前広場にて、成果発表  |
| 事業の効果   | 子供達が、自分たちの言葉で歌詞を考え、一つの作品を作り上げ、目標を持って芸術に取り組み、成果を発表することは、未来を担う子供達が、自主性を持ち、音楽や芸術を好きになるきっかけとなり、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」となった。また、大人が音楽でサポートすることにより、多世代交流にもなっている。 |
| 今後の展望   | 音楽をツールとして、多世代交流を引き続き図る。<br>今回集まった子供たちに、引き続き、音楽の素晴らしさを大人が伝えられる場を作る。<br>さらに、芸術のコラボレーションを助け、多世代交流を深めたい。  |

#### 【実施団体の事業総括・感想等】

昨年に引き続き、コロナの中での事業ではありましたが、今できること、今だからやることをコンセプトに音楽や芸術を通じ、多世代の心の交流、そして、子供達が自分たちで作る大変さと喜びを楽しみながら、体感できたことは大きな成果だと感じています。芸術は常に、人の心を豊かにする力を持っている。その素晴らしい力を子供達に伝えていける事業を目指したいと考える。

#### 【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

歌詞やフレーズなど音楽を構成する要素に直に触れる機会を作り、また、コロナ禍においても、音楽や芸術が人の心にとって重要なコンテンツであることを体感できるという、将来を担う子供たちにとってとても有意義な事業であったと思います。

また、事業を引き続き継続する場合は、年齢・性別を超えて参加者を募り、事業実施の初期から音楽をツールとした多世代交流ができるとより意義が深まるかと思っています。

今後も引き続き、世代を超えて音楽のまち・ひめじを広く発信していただきたいと考えています。